

大津赤十字病院を受診された患者さんへ

本研究は、当院の倫理委員会で承認され、大津赤十字病院の施設長の許可を得て、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名 (研究番号)	標準化腎生検組織評価法の確立 (No.1029)
当院の研究責任者 (所属)	古宮俊幸 (腎臓内科)
他の研究機関および 各施設の研究責任者	大阪大学医学部附属病院、愛知医科大学、愛媛大学、香川大学、金沢医科大学、川崎医科大学、九州大学、京都大学、久留米大学、東海大学、東京大学、名古屋大学、新潟大学、兵庫医科大学、広島大学、藤田医科大学、和歌山県立医科大学、地域医療機能推進機構大阪病院、大阪急性期・総合医療センター、大阪南医療センター、大阪労災病院、北野病院、千葉東病院、市立豊中病院、東大阪医療センター、関西ろうさい病院、兵庫県立西宮病院、奈良県立医科大学、順天堂大学、日本医科大学、旭川医科大学、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院
本研究の目的	腎生検組織診断の均質化を目指し、より適切な治療法の選択と腎予後向上を図ります。
調査データ 該当期間	・実施承認後 ～ 西暦 2027 年 4 月 30 日
研究の方法 (使用する試料等)	臨床診断に用いたプレパラートを用いて腎生検組織の再評価を行います。さらに、腎予後の予測が可能であるか否かを検討します。腎生検時およびその後の血液尿検査データや、腎代替療法導入や死亡など臨床情報を電子カルテから収集し、後方視的観察研究として予後との関連を明らかにします。
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	腎生検検体、腎生検所見、血液・尿検検査データなどを用います。また、年齢、性別、病歴、投薬歴、腎代替療法導入の開始の有無などの診療記録を用います。
個人情報の取り扱い	匿名化されています。 方法：研究対象者のデータや検体から氏名等の特定の個人を識別することができることとなる記述等を削り、代わりに新しく符号又は番号をつけて匿名化を行う研究対象者との符号（番号）を結びつける対応表を作成し、個人情報管理者は外部の漏れないように厳重に保管します。 物理的安全管理（データ管理 PC や記録媒体は腎臓内科研究室内の保管庫にて鍵をかけて保管）、技術的安全管理（外部からの不正アクセス等の防止に対して不正ソフトウェア対策）、組織的人的安全管理（定期的に教育を受ける）を行います。
本研究の資金源 (利益相反)	
お問い合わせ先	大津赤十字病院 腎臓内科 古宮俊幸 電話：077-522-4131
備考	